

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2013-85621(P2013-85621A)
 【公開日】平成25年5月13日(2013.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報2013-023
 【出願番号】特願2011-227204(P2011-227204)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0476 (2006.01)

A 6 1 B 5/0408 (2006.01)

A 6 1 B 5/0478 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 2 0 A

A 6 1 B 5/04 3 0 0 M

A 6 1 B 5/04 3 0 0 N

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月7日(2014.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの額からユーザの後頭部上方に到る第1のヘッドバンド部と、前記第1のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第1のヘッドバンド部に直交してユーザの右乳様突起に到る第2のヘッドバンド部と、前記第1のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第1のヘッドバンド部に直交してユーザの左乳様突起に到る第3のヘッドバンド部とを有するヘッドバンドと、

前記ヘッドバンドに設けられた、ユーザの頭表に接触する電極とを具備するヘッドギア。

【請求項2】

請求項1に記載のヘッドギアであって、

前記第1のヘッドバンド部は、ユーザの額に当接する第1の当接部を有し、

前記第2のヘッドバンド部は、ユーザの右乳様突起に当接する第2の当接部を有し、

前記第3のヘッドバンド部は、ユーザの左乳様突起に当接する第3の当接部を有し、

前記ヘッドバンドは、弾性を有する材料からなり、前記第1の当接部がユーザの額を押圧し、前記第2の当接部がユーザの右乳様突起を押圧し、前記第3の当接部がユーザの左乳様突起を押圧することによってユーザの頭部に支持される

ヘッドギア。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のヘッドギアであって、

前記電極の出力信号を処理する電子回路を収容する本体を着脱可能に支持する本体接続部を有する

ヘッドギア。

【請求項4】

請求項3に記載のヘッドギアであって、

前記本体接続部は、ネジ孔と、前記ネジ孔の周囲に設けられた柔軟性を有する材料から

なる筒状のスカートと、前記スカートの周囲に設けられた柔軟性を有しない材料からなる筒状のガイドとを有する

ヘッドギア。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のヘッドギアであって、

前記電極は、前記第 2 の当接部に配置され基準電位を検出する右基準電極と、前記第 3 の当接部に配置され基準電位を検出する左基準電極を含む

ヘッドギア。

【請求項 6】

ユーザの額からユーザの後頭部上方に到る第 1 のヘッドバンド部と、前記第 1 のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第 1 のヘッドバンド部に直交してユーザの右乳様突起に到る第 2 のヘッドバンド部と、前記第 1 のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第 1 のヘッドバンド部に直交してユーザの左乳様突起に到る第 3 のヘッドバンド部とを有するヘッドバンドと、前記ヘッドバンドに設けられたユーザの頭表に接触する電極とを有するヘッドギアと、

前記ヘッドギアに着脱可能に接続され、前記電極の出力信号を処理する電子回路を収容する本体と

を具備する脳波測定装置。

【請求項 7】

ユーザの額からユーザの後頭部上方に到る第 1 のヘッドバンド部と、

前記第 1 のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第 1 のヘッドバンド部に直交してユーザの右乳様突起に到る第 2 のヘッドバンド部と、

前記第 1 のヘッドバンド部に接続されユーザの後頭部上方から前記第 1 のヘッドバンド部に直交してユーザの左乳様突起に到る第 3 のヘッドバンド部と

を具備するヘッドバンド。